

平成28年度11月補正予算案のポイント

- 人口定着・確かな暮らし実現総合戦略やしあわせ信州創造プランの推進を図るため、国の補正予算や地方創生のための交付金を活用し、製造業や農林業の競争力強化のための取組、子育て・教育環境の充実、文化芸術の振興のための取組等を実施。
- 県民の確かな暮らしを実現するために県として必要な事業について、国の補正予算で措置された国庫補助金等を最大限活用することにより、県財政の負担軽減・財政の健全化に配慮。

《補正予算案の主な内容》

◎ 活力ある産業づくり

産業イノベーションの創出

モノのインターネット（IoT）を活用した取組を活発化させるため、部品のナノレベルの加工・評価を行うことが出来る最先端装置を工業技術総合センターへ導入

農業の競争力強化

農業の競争力を高めるため、農業関係試験場の研究力の強化を図るとともに、農業経営体の規模拡大や生産性向上に必要な農業機械等の整備、地域農産物の販売・加工等を行う拠点施設の整備を支援

森林県から林業県への転換

本県カラマツのブランド化を進めるため、高品質で高強度が得られる新製品を開発するための研究開発施設の整備等を図るほか、マツタケ人工栽培研究の加速化のための施設を整備

◎ 子育て・教育環境の充実

小児・周産期医療の充実を図るため、新生児用医療設備の整備を支援するとともに、地域全体の参画により作り上げる一場所多役の子ども居場所「信州こどもカフェ」の取組等を推進

◎ 文化芸術の更なる振興

開館から50年が経過し老朽化の著しい信濃美術館本館の全面改築に着手するとともに、開館から25年が経過した東山魁夷館の設備改修、芸術監督団による文化芸術を担う人材育成の取組等を実施

◎ 信州まつもと空港の活性化

平成28年6月に策定した「信州まつもと空港の発展・国際化に向けた取組方針」に基づき、国際化に向けた取組を着実に推進するため、国際チャーター便の就航支援の充実等を実施

◎ 県民生活の安全・安心の確保

県民生活の安全・安心確保のため、救急医療体制の強化を図るための医療機器導入の支援、児童養護施設や障がい福祉施設等の防犯対策強化のための設備整備の支援等を実施

◎ 補正予算額

42億8806万6千円

(債務負担行為 35億6149万8千円)

◎ 活力ある産業づくり

◇ 産業イノベーションの創出

(新) 次世代産業の技術支援強化 5600万円 〈産業労働部〉

- * 次世代産業の技術支援強化のため、IoT関連の電子部品等を加工・観察する評価試験機器を工業技術総合センターに整備
〔技術相談件数:50件(平成28年度)〕

◇ 農業の競争力強化

(新) 農業関係試験場の研究力強化 7億3117万5千円 〈農政部〉

- ★ 技術開発の高度化や育種期間の短縮化等のため、農業関係試験場の施設・設備等を整備
〔オリジナル品種開発期間の短縮:【作物・野菜】8~10年→6~8年 【果樹】18~20年→13~15年〕
〔温暖化対応生産技術の開発期間の短縮:7~8年→5~6年〕

農業の経営力強化のための機械等整備支援 1億3931万6千円 〈農政部〉

- * 次代を担う優れた農業経営体の経営力を強化するため、経営規模の拡大や生産性向上に必要な農業用機械等の整備を支援
〔経営感覚に優れた経営体の育成:25経営体(平成28年度)〕

地域農産物の販売・加工等拠点施設整備支援 7975万3千円 〈農政部〉

- * 農山村地域において、農業振興による所得の向上や都市住民との交流を促進するため、地域農産物の販売や加工等を行う拠点となる施設の整備を支援
〔都市農村交流人口:590,000人(平成28年度)〕

◇ 森林県から林業県への転換

(新) 100年カラマツ活用に向けた試験研究施設整備 3億833万3千円 〈林務部〉

- ★ 80年生を超える太いカラマツ材などを利用した高品質・高強度の製品開発とコンテナ苗木を生産するため、試験研究施設を整備
 - ・カラマツ材などを利用した製品開発に必要な試験研究施設整備
 - ・コンテナ苗木生産に必要な試験研究施設整備〔大径材を活用した木材新製品開発件数:0件(平成28年度)→6件(平成33年度)〕
〔カラマツコンテナ苗木研究件数:0件(平成28年度)→1件(平成32年度)〕

(新) マツタケ人工栽培に向けた試験研究施設整備 1056万円 〈林務部〉

- ★ 松くい虫被害やアカマツ林の高齢化により危惧される減産を食い止めるため、マツタケ人工栽培の推進に向けた試験研究施設整備
 - ・マツタケ菌感染苗の増産施設整備〔マツタケ人工栽培試験地数:1箇所(平成28年度)→5箇所(平成33年度)〕

◎ 子育て・教育環境の充実

小児・周産期医療の提供体制強化 1015万9千円

〈健康福祉部〉

- * 小児・周産期医療の充実を図るため、新生児用医療設備の整備を支援
 - ・医療機器の整備 1箇所
 - ・補助率 2/3以内
- [小児・周産期医療施設の設備整備:1箇所(平成28年度)]

(新) 「信州子どもカフェ」推進のための機運醸成 41万2千円

〈県民文化部〉

- ★ 地域全体の参画により作り上げる一場所多役(食事提供、学習支援、悩み相談等)の子ども居場所「信州子どもカフェ」の取組を推進するため、フォーラムの開催により県全体の機運を醸成
 - ・「信州子どもカフェ」推進フォーラムの開催
- [フォーラム参加者数:160人以上(平成28年度)]

放課後子ども教室の環境整備支援 2396万5千円

〈教育委員会〉

- * 放課後児童クラブと一体化した放課後子ども教室の新設又は拡充のため、市町村が行う環境整備を支援
 - ・補助対象者:市町村
 - ・補助率:10/10

(新) 地方創生のための探求型学習の推進 997万6千円

〈教育委員会〉

- ★ 地方創生に通じる探究的な学びに取り組むため、RESAS(※)を活用した学習の実践及び効果検証を実施
 - ※RESAS:まち・ひと・しごと創生本部事務局が提供する、産業構造や人口 動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステム
 - ・RESAS活用学習検討推進委員会の開催
 - ・探求型学習推進用ICT機器の整備

◎ 文化芸術の更なる振興

信濃美術館の改築・改修 3537万3千円

〈県民文化部〉

- 開館から50年が経過し、老朽化の著しい信濃美術館本館の全面改築に着手するとともに、開館から25年が経過した東山魁夷館の設備改修等に向けた基本設計を実施
- ・新美術館設計者選定のためのプロポーザル審査委員会の開催や地盤調査及び測量の実施
 - ・東山魁夷館改修の基本設計
 - ・信濃美術館整備担当参与(仮称)の配置

芸術監督団が企画する文化振興事業団の取組を支援 2400万円

〈県民文化部〉

- ★ 芸術の鑑賞機会を提供し、文化芸術を担う人材を育成するため、芸術監督団が企画し文化振興事業団が実施する、演劇公演や地域づくり関係者等との座談会の開催を支援
- [巡回公演の集客率:70%(平成28年度)]

◎ 信州まつもと空港の活性化

(新) 国際チャーター便の誘致推進 976万9千円

〈企画振興部〉

信州まつもと空港に国際チャーター便の就航を誘致するため、航空会社及び旅行会社に対する就航支援を充実するとともに、国際的なエアライン商談会に参加

- ・事業主体 信州まつもと空港利用促進協議会
- ・旅行会社に対する旅行商品造成支援の拡充
- ・航空会社に対する施設使用料等支援の新設
- ・「ルーツ・アジア2017in沖縄」への参加

〔国際チャーター便の就航便数:6便(平成28年度)〕

◎ 県民生活の安全・安心の確保

救急医療の提供体制強化 1948万1千円

〈健康福祉部〉

- * 地域の救急医療体制の充実を図るため、病院群輪番制に参加する病院の医療設備の整備を支援

- ・医療機器の整備 3箇所
- ・補助率 2/3以内

〔救急医療施設の設備整備:6箇所(平成28年度)〕

児童養護施設や障がい福祉施設等の防犯対策強化 4532万3千円

〈県民文化部、健康福祉部〉

- * 児童養護施設や障がい福祉施設等における入所者等の安全を確保するため、社会福祉法人等が行う施設の防犯対策を強化するための設備整備を支援

- ・補助率 3/4以内

〔児童養護施設等の防犯対策:7箇所(平成28年度)〕

〔障がい福祉施設の防犯対策:59箇所(平成28年度)〕

鉄道駅のバリアフリー化推進 2000万円

〈企画振興部〉

- * 地域公共交通の基幹である鉄道駅のバリアフリー化を進めるため、鉄道事業者が行うエレベーターの整備への支援を前倒して実施

- ・事業主体 しなの鉄道㈱
- ・補助率 1/6以内
- ・県の整備目標に基づくエレベーター等設置駅数 H28:19駅→20駅

〔1日あたり利用者3,000人以上の駅のエレベーター整備数:24駅(平成32年度)〕

大規模災害時の即応体制の準備 257万8千円

〈危機管理部〉

大規模災害に際して、緊急消防援助隊による応援・受援活動を円滑に連携・実施するため、必要な装備類をふるさと信州寄付金を活用して充実・強化

土砂災害基礎調査の実施（債務負担行為 1500万円）

〈建設部〉

土砂災害防止法に基づき、土砂災害の恐れがある区域の指定に向けた基礎調査の一部として概略調査を実施するため、債務負担行為を設定

- ・対象市町村:佐久市、上田市、中野市 等

〔概略調査実施箇所:2,880箇所(平成29年度)〕

(新) 諏訪湖の貧酸素対策の効果分析 272万2千円

〈環境部〉

本年7月に発生したワカサギの大量死を受けて、効果的な貧酸素対策を検討するため、各種対策を実施した場合における効果のシミュレーションを実施

◎ 暮らしを支える基盤づくり

直轄事業負担金 23億7014万4千円

〈建設部〉

- * 国が第2次補正予算により実施する道路、河川等の直轄事業に係る負担金を追加
 - ・道路: 中部横断自動車道、三遠南信自動車道、国道18号 等
 - ・河川: 千曲川、天竜川、小渋ダム
 - ・砂防: 信濃川上流水系、天竜川水系 等

身近な社会資本の整備[補助公共事業] (債務負担行為 13億1000万円)

〈建設部〉

- * 早期の事業実施により安全で円滑な交通の確保を図るため、舗装補修事業、橋梁補修事業、道路改築事業に係る債務負担行為を設定

アルウインの芝生等の更新[補助公共事業] (債務負担行為 2億円)

〈建設部〉

- * 経年により状態が悪化した松本平広域公園(アルウイン)の芝生について散水施設の更新を含めた全面張り替えを早期に行うため、債務負担行為を設定

道路修繕等の推進[一部県単独公共事業] (債務負担行為 11億6200万円)

〈建設部、警察本部〉

春夏の観光シーズンに向け、除雪等により不鮮明となった道路の区画線や横断歩道等の塗り替えを進めることに加え、冬期の凍結等により劣化した道路舗装の修繕を、工事発注の平準化にも配慮しつつ年度当初に前倒して実施するため、債務負担行為を設定

◎ その他

現地機関の見直しに向けた準備 1132万4千円

〈総務部〉

平成29年4月に予定されている現地機関の見直しに伴い、年度内に必要な案内板の変更や電話回線工事等を実施

指定管理者による施設管理費 (債務負担行為 8億2430万円)

〈県民文化部、建設部、教育委員会〉

指定管理者を指定する7施設の指定管理料について債務負担行為を設定

- ・創造館2施設、男女共同参画センター、都市公園2施設、少年自然の家2施設